

ふくかつひさ

福勝久

黒原6551(86.6)
生年月日:令和3年1月22日
繁殖者:豊後大野市　三浦一利氏
個体識別番号:14139-3966-6
遺伝病:10形質フリー
骨格粗大症(SD):保因なし
直接検定DG:1.26kg

勝乃幸 黒原5630(84.3) (長崎・平戸)	勝乃勝 黒原4415(88.9) (長崎・壱岐)	平茂勝	第20平茂
		むつき	平茂勝
	ゆきこ 黒2059427(79.8) (鹿児島・熊毛)	金幸	金徳
		としえ	神高福
ひさこ3 黒2421568(81.0) (大分・豊後大野)	勝忠平 黒原3800(87.5) (鹿児島・薩摩)	平茂勝	第20平茂
		うめ2	忠福
	ひさこ 黒原1417841(81.3) (熊本・天草)	安福久	安福165の9
		さゆり	平茂勝

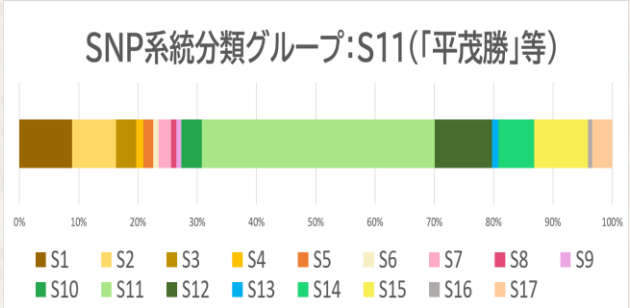
近交係数　13.49%

■現場後代検定成績

性別	調査牛頭数	出荷月齢	枝肉重量	ロース芯面積	バラ厚	皮下脂肪厚	推定歩留	BMS No.	MUFA
去	11	27.6	520.1	63.0	9.0	3.1	74.3	8.5	57.1
雌	7	28.8	483.7	74.0	8.7	2.6	76.4	11.0	56.1
総計	18	28.0	506.0	67.3	8.9	2.9	75.1	9.5	56.8

■枝肉6形質　推定育種価(R8.4月評価時点)

枝肉重量	B	ロース芯面積	B	バラ厚	H
育種価	正確度	育種価	正確度	育種価	正確度
54.039	0.849	21.04	0.863	1.788	0.838
皮下脂肪厚	B	歩留基準値	A	BMS No.	H
育種価	正確度	育種価	正確度	育種価	正確度
-0.686	0.874	3.949	0.88	3.328	0.878



用語解説

- **遺伝的不良形質**
  現在、黒毛和種で遺伝子診断が可能な遺伝的不良形質には次のものがあります。 本パンフレットでは1～10の遺伝病および骨格粗大症(SD)の保因状況を明記しています。

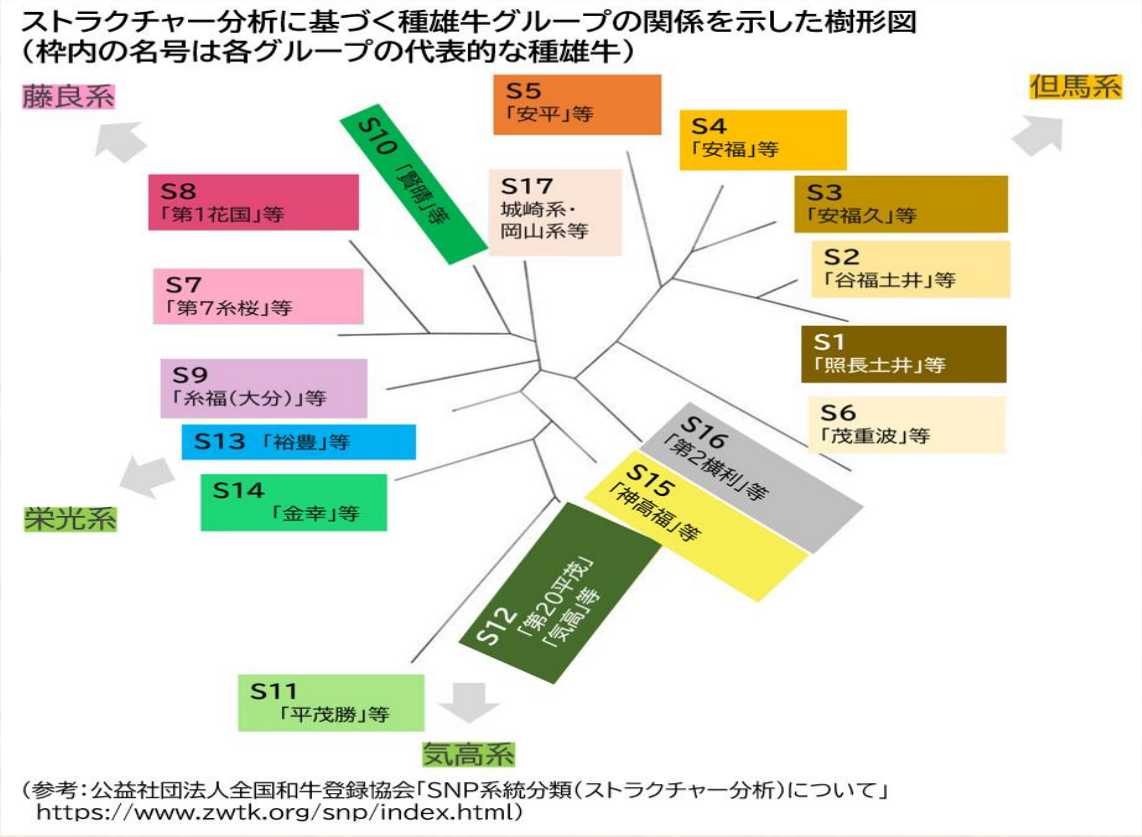
1. バンド3欠損症(B3)
2. クローディン16欠損症(CL16)
3. IARS異常症(IARS)
4. 前肢帯筋異常症(FMA)
5. 眼球形成異常症(MOD)
6. 血液凝固第13因子欠損症(F13)
7. モリブデン補酵素欠損症(MCSU)
8. チェディアック・ヒガシ症候群(CHS)
9. メラニン細胞刺激ホルモン受容体(MSHR)
10. バーター症候群1型(BAS1)
11. 骨格粗大症(SD)

※上記の遺伝的不良形質は単純劣勢遺伝様式をとります。保因種雄牛を交配する際は、同病の保因が疑われる雌牛を避けることで、発症を防ぐことができます。

- **直接検定DG**
  直接検定期間112日間の1日あたり増体量を表示しています。

- **育種価評価(BV)**
  子牛が生まれつき親から授かった遺伝的能力のことで、下表に示す平均値から、どの程度優れているか(劣っているか)を数値で表したものです。
  通常、後代の成績と血統情報から統計遺伝学的に算出して**「推定育種価」**として表記しますが、算出出来ない場合は、両親の育種価から計算した**「期待育種価」**や祖父母の育種価から計算した**「期待の期待育種価」**などで表されることもあります。
  大分県では、(公社)全国和牛登録協会の計算した育種価を採用しており、本パンフレットには、枝肉の6形質(枝肉重量、ロース芯面積、バラ厚、皮下脂肪厚、歩留基準値、脂肪交雑基準値)の育種価を掲載しています。

- **SNP系統分類(ストラクチャー分析)**
  種雄牛のSNP型情報を用いた分析結果に基づき、ゲノム構成の似通いに応じて分類したもので、従来の血統情報ではわからなかったDNAレベルでの特徴や似通いを考慮した系統分類です。
  集団をS1～S17の17集団(系統)と仮定し、最大のゲノム構成割合に基づきS1～S17のグループに分類されます(最大のゲノム構成割合が30%未満の場合は、S00(未分類)として表示)
  下図は、17グループの関係を遺伝的距離に置き換えて表したもので、グループ同士をつなぐ線はグループ間の個体の平均的な遺伝的距離を示しています。



(参考:公益社団法人全国和牛登録協会「SNP系統分類(ストラクチャー分析)について」
https://www.zwtk.org/snp/index.html)